

Istanbul Weekly vol.5-no.10

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2016年3月18日（金）

— 今週のポイント —

- 政治**：アンカラ自爆テロ事件を受けたエルドアン大統領発表。
欧州理事会議長、EU トルコ首脳協議を前にトルコを訪問。
- 経済**：1月の経常赤字、22億ドル。
2015年12月期の失業率、10.8%に上昇。
- 治安**：アンカラ中心部で大規模車両自爆テロ、TAKが犯行声明。
アンカラのテロ犠牲者数、バクダットに次いで世界第2位に。
PKK リーダー、都市部での戦闘を認める。
- 軍事**：NATOがトルコの領空監視を開始。
- 社会**：イスタンブール日本語弁論大会、25周年。
化粧品に危険信号、赤ちゃん用シャンプーが危険。

政治

【内政】

●アンカラ自爆テロ事件を受けたエルドアン大統領の声明

13日のアンカラ自爆テロ事件を受けて、同日、エルドアン大統領は声明を発表した。同大統領は、トルコがテロ攻撃の対象になっているとの認識を示した上で、今回のテロについて、「最も良心に反する方法で無実の市民を標的とした。」として強く非難、今後も「強い決意をもってテロとの闘いを行っていく。」と強調した。(3月14日付M紙11面)

●クルチダルオール CHP 党首の自党党勢に関する発言

13日、クルチダルオール CHP 党首はイズミル市内で行われた社会民主主義自治体会合で、CHP は本来の実力に相当する票を獲得できておらず、(得票) 25%のラインで停滞しているとの現状を認めつつ、AKP が益々独裁制の方向に進んでいると強調した上で、CHP 党勢上昇のため現状を打破しなければならぬと述べた。(3月14日付M紙17面)

●AKP、CHP、MHP、テロ非難の共同声明発出、HDP は不参加

15日、AKP、CHP、MHP の国会3党は、13日のアンカラ自爆テロ事件を強く非難し、国民の連帯を訴える共同声明を発出した。一方で、HDP は、政府の責任を覆い隠す試みに加担しないとして共同声明発出に参加しなかった。(3月16日付M紙21面)

【外交】

●EU へのビザ無し渡航の見通し

経済開発基金のゼイティンオール代表は、EU との間で協議が行われている EU へのビザ無し渡航は、欧州が懸念するようなトルコからの大量の移民ラッシュをもたらさないと述べた。同代表は、トルコにおける旅券保持者は人口の10%程度に過ぎず、ビザ無し渡航の最大の効果は心理面で

の好影響であろうと述べた。(3月14日付HD紙10面)

●トゥスク欧州理事会議長、18日のEU トルコ首脳協議を前にトルコを訪問

トゥスク欧州理事会議長は15日、18日に開催予定のEU・トルコ首脳協議を前にアンカラを訪問し、ダーヴトオール首相との間で難民問題への対応を協議した。同議長は「18日に最終合意に達するための様々な問題を議論した。」と述べつつも、EU 各国が納得する難民問題の解決は「簡単ではない。」と慎重な姿勢を示した。(3月16日付M紙20面他)

●エルドアン大統領、アリエフ大統領と会談

15日、エルドアン大統領は、トルコを訪問したアリエフ・アゼルバイジャン大統領と会談した。エルドアン大統領は、トルコとアゼルバイジャン強い連帯で結ばれていると強調した。また、第5回ハイレベル戦略会議が開催され、両国間で6件の協力覚書が署名された。(3月16日付S紙19面)

経済

【マクロ経済】

●1月の経常赤字、22億ドル

1月の経常赤字は、前年同月比2億1600万ドル減少し22億ドル。過去12か月間の経常赤字は319億ドルに低下。経常赤字の減少は、原油価格安による貿易赤字の減少が大きな要因。(3月11日付HDN紙10面他)

●フィッチ、トルコの経済成長率予想を3.5%に上方修正

格付情報会社フィッチ社は、2016年のトルコの経済成長率見通しを3%から3.5%に上方修正した。トルコのマクロ経済政策、消費の増加及び原油安により、トルコ経済の実績が予想より良かったことを受けての上方修正となった。(3月11日付HT紙9面他)

●2015年12月期の失業率、10.8%に上昇

昨年12月期の失業率は前月の10.5%から10.8%に上昇。アナリストは、シリア難民の労働市場への参加やトルコの経済成長速度が雇用を生み出すには十分ではないことから、失業率が上昇を続けると予想する。若年層の失業率は前年同月比1ポイント低下して19.2%となった。(3月16日付HDN紙10面)

【経済政策】

●トルコ政府の2016年予算

トルコ政府の2016年予算が成立した。5700億リラ(1960億ドル)が人件費、社会保障、教育、防衛、投資等に配分された。教育関連予算は国民所得の4.61%相当の1018億リラに増加。健康関連予算は276億リラ、防衛関連予算は270億リラ。(3月17日付HDN紙10面)

【企業等の動き】

●レクサス、トルコの高級車市場に参入

トヨタの高級車部門レクサスが、今週イスタンブールに支店をオープンする。今後12か月でアンカラ、イズミル、ブルサ、アンタルヤ及びアダナにショールームをオープンする予定。今年の販売目標台数は200-250台で、5年以内に1000台を目指す。レクサス・ヨーロッパ代表のウィッテンホーヴェン氏は、トルコの高級車市場が昨年ヨーロッパでトップ10の規模に成長したことを踏まえ、2020年には最も売上げの大きい市場の一つとなると見込む。レクサスの価格帯は7万3,400ドルから34万5000ドル。(3月13日付AA紙インターネット版)

【観光関連】

●ロシア、トルコの旅行会社のライセンスを復活させる

ロシア観光庁は、トルコへの経済制裁の一環で取り消していたトルコの旅行業者19社のうち13社のライセンスを復活させた。同庁では、これら旅行業者から提出された書類を検査し、13社及びその子会社についてはトルコ国民が所有していないことやトルコ資本が入っていないことが確認されたためライセンス復活となった。(3月17日付HDN紙10面)

【イスタンブール関連】

●謎の投資家

11日のブルームバーグのレポートによると、トルコの市場で巨額の取引を行っている投資家がいる。この謎の投資家は、1年半前に1日で4億5000万ドルの取引を行って以来、取引の頻度を上げており、個人ではなくトルコ市場に精通し高度な解析システムを使用する集団だと考えられている。ある業界関係者はアラブ首長国連邦等の湾岸諸国が関わっているとみている。(3月14日付HDN紙10面)

●イスタンブール、今後の金融ハブに

不動産サービス大手クッシュマン・アンド・ウェイクフィールドは、最新のレポートで、イスタンブールをシンガポール、上海、ドバイ等と共に将来の金融の中心として有望であると見ている。ただし、ドバイのような成功事例に沿って法人所得税の免除、労働ビザ取得の簡易化、独立した仲裁裁判所の設置について改善の必要があるとした。(3月14日付HDN紙11面)

【その他】

●海外で経済的市民権を求めるトルコ人が増加

コンサルティングのヘンリー&パートナーズのレポートによると、海外で経済的市民権を求める裕福なトルコ人は、過去3年間で2倍以上に増加。海外での投資やビジネスの機会を持ち、税制面での恩恵や旅行を楽しむという点に加え、治安の良さへの関心による。経済的市民権制度のある国の中では、EU加盟国であるマルタに対するトルコ人のニーズが高いが、費用は155万ドル及び手数料と高額である。(3月15日付HDN紙11面)

治安

●アンカラ中心部で大規模車両自爆テロ、TAKが犯行声明。

(1)13日午後6時45分ころ、アンカラ市の中心部クズライ地区ギュベン公園付近において、自動車爆弾が爆発。バス2台と車両4台が大破し、35名が死亡(3月16日現在)、100人以上が負傷した。

16日現在まで犯行声明は出されていないが、15日、内務省は「本件はPKKの犯行である。遺体の指紋から、自爆テロ犯は、PKKの女性メンバーであるセヘル・ジャグラ・デミル(Seher Cagla Demir、女性、1992年カルス県生まれ)。同人は、2013年からPKKに参加し、テロ組織PYDでテロ訓練を受けた」旨発表した。

犯行に使われた車両は、95年製BMWで1月10日に盗難されたものであった。

また、14日、トルコ空軍は、PKKの本拠地である北イラクのカンディル山を9機のF16戦闘機と2機のF4戦闘機で空爆した。



(3月13日HD紙、15日付AIP通信等)(写真はHT紙インターネット版から)

(2)15日、PKK系のオズギュル・ギュンデム紙において、PKK幹部であるムスタファ・カラスが「フセイン・アリ」のペンネームで執筆しているされるコラムにおいて「アンカラで機動隊を標的とした事件の後に、AKPが(テロ組織を)潰すなどと言っているが、そうすれば、この汚れた戦争がもっと激しくなり、市民の犠牲は、ジズレ、シロピ、イディル、スルだけではなくなる。」旨言及。(オズギュル・ギュンデム紙は、裁判所の決定により15日に発禁処分となった。)(3月15日付オズギュル・ギュンデム紙インターネット版)

(3)17日、PKKの派生組織TAK(クルド解放の鷹)は、同事件について犯行声明を発出し、「3月13日夜、クルド人虐殺の決断をしたファシスト・アンカラ政府の中心部を標的に自爆テロを実行した。ジズレで300名のクルド人が殺されたことの復讐である。我々の攻撃目標は警察であったが、警察の妨害により達成できなかった。我々は、ファシスト・トルコ政府が引き起こした戦争と無関係の市民の犠牲が出たことを悲しく思う。」「忘れてはならないのは、ジズレをはじめとして市民、無抵抗な市民に対して行われた燃焼、殺人の清算をすべく数百の同志が決意を固めている。汚れた闘争のプレーンや執行する立場にいる者達を、最も安全と思っている場所で攻撃し続ける。AKPファシスト政権が取っている治安対策は我々にとって何ら問題と

なっておらず、今後も問題になることはない。トルコで生活する者達は知る必要がある。ファシストの独裁者を地に伏させざるまで、誰の命も保証されない。トルコ共和国がクルディスタンで行った殺害・占領を終わらせるまで、闘争は決意をもって続けていく。アポ（オジャラン首領）及びクルド人に対するあらゆる敵対に対して立ちふさがり続けていく。」などと述べられた。（3月17日AIPニュース他）

●PKK、左翼系過激派との共同作戦を行うことを発表

12日、PKKの指導者ジャミル・バユックは、9つの左翼系過激派との共同作戦を実施していくことを発表。名前が挙げられた9つの組織は、MLKP（マルクス・レーニン主義共産党）、TKP/ML（トルコ共産党/マルクス・レーニン）、THKP-C/MLSPB（人民解放党/トルコ戦線）、MKP（毛沢東主義共産党）、TKEP-LENINIST（トルコ共産主義労働者党/レーニン主義）、TIKB（トルコ革命主義共産党）、DKP（革命的共産党）、Devrimci Karargah（革命本部）、Proleter Devrimciler Koordinasyonu（プロレタリア革命共同戦線）



（3月16日H紙インターネット版、写真同）

●ハッカリ県・マルディン県で大規模 PKK 掃討作戦実施のため外出禁止令

13日、ハッカリ県ユクセコバとマルディン県ヌサイビンにおいて、外出禁止令が発令され、大規模 PKK 掃討作戦実施のため治安部隊の人員及び車両が集結している。100台以上の耐地雷防御能力を有する車両も両県に派遣された。市民達が避難を始めている。ハッカリ県ユクセコバでは、PKKが1万1000人の戦闘員を送り、自治を宣言する予定であるとの情報や8000人のPYD戦闘員が、シリアからトルコに入り、PKKの戦闘に参加するとの情報がある。

14日までに治安部隊2万人が両県に展開した。



（3月14日HT紙3面、3月14日）（写真はスポーツ・インターネット版から）

●アンカラのテロの犠牲者数、バクダットに次いで世界の都市第2位に

過去6ヶ月（昨年10月から本年3月現在）世界の都市におけるテロの犠牲者数の集計結果によると、アンカラにおける犠牲者数は168名で、1位のバクダット428名に続いて第2位となった。3位はモガディシュ（ソマリア）の77名、4位はカブール（アフガニスタン）58名、5位はベイルート（レバノン）43名。

BEYRUT VE KÂBİL'İ GEÇTİ						
	EYLÜL	KASIM	ARALIK	OCAK	ŞUBAT	MART
Bağdat	96	72	24	29	29	23
Ankara	802	-	-	-	29	183
Mogadishu	2	25	7	26	8	8
Kabul	1	1	9	10	25	8
Beirut	43	-	-	-	-	43
Kahire	-	-	27	9	-	26

（3月15日付C紙インターネット版）（写真は3月15日付C紙インターネット版から）

●最高裁長官「トルコはテロと共に生きなければならない」

14日、ジリット最高裁判所長官は、「不幸なことだが、我々の国はテロと共に生きなければならない。しかし、テロによって目的を達成しようとするテロリスト達は、彼らの目的は決して実現しないことを知るべきである。」と話した。同発言は、政府系新聞社のコラムニストが「悲しいことだが、我々は、しばらくの間、テロと共存することを学ばなければ行けない」と述べた数時間後になされた。（3月15日付HDN紙3面）

●ゲジ公園デモの犠牲者殺人容疑の警察官に禁固14年の判決

2013年のゲジ公園での大規模大衆デモの際に、機動隊員の発射した催涙弾がデモ参加者1名の頭に直撃して同人が死亡した事件について、「未必の故意による殺人罪」により禁固20年を求刑されていた、催涙弾を発射した県警機動隊員に対して判決が出され、「過失による殺人罪」により、禁固14年4ヶ月が宣告された。



（3月15日付HDN紙2面）（写真はゲジ公園デモで催涙弾を発射する機動隊。3月15日付C紙インターネット版から）

●ボスポラス第一大橋で不審車両、ガス欠車と判明

15日、ボスポラス第一大橋上で、1台の小型乗用車がハザードをつけたまま路肩に停車して運転手が現場から立ち去ったことから、自動車爆弾テロの可能性があると見て、同大橋を閉鎖して県警爆発物処理班が出動する騒ぎとなった。捜査の結果、車両はただのガス欠で、運転手はガソリンを入手するために現場から離れたことが判明した。



（3月16日C紙10面）（写真はイェニョファック・インターネット版から）

●トルコ治安・軍事関連予算が前年比約2倍に

15日、財務省の発表したデータによると、本年2月のトルコの治安・軍事関連予算は、1億570万リラであり、昨年2月の5240億リラから2倍近くに増加した。これは、増税

により政府予算に余剰が生じたためであるという。(3月16日付C紙インターネット版)

●イギリス人大学講師が PKK プロパガンダ容疑で拘束

15日、イスタンブール・ビルギ大学で、コンピューター科学を教えるイギリス人であるクリス・ステフェンソン講師が、先日、南東部での戦闘停止を訴える署名をしたため逮捕された3人の学者への支持を表明するためイスタンブール警察を訪問した後、県警により拘束された。ステフェンソン講師は、PKKのプロパガンダとなる文章や写真が掲載されたリーフレットを配付していた容疑で拘束された。(3月16日付HDN紙インターネット版)

●PKK リーダー、都市部での戦闘を認める

8日、PKKのリーダーであるジェミール・バユックは、英国の「デイリー・タイム」紙のインタビューに答え、「PKKの現在の主要な目的は、エルドアン大統領と AKP 政権を排除することである。」「エルドアンと AKP 政権が排除されなければ、トルコは民主的な国には決してならない。」「トルコ治安部隊は、南東部の都市で大量虐殺等非人道的行為を行っており、復讐を誓う。」「PKK が都市部での戦闘を引き起こしていることを認める。この戦術は、人民闘争の新しい時代をなすもの。」等と語った。



(3月16日付C紙10面) (写真はジェミール・バユック。ガーディアン紙インターネット版から)

●ドイツに対する脅威情報

ドイツ外務省は、トルコに所在するドイツ在外公館とドイツ人学校に対する脅威情報があるため、3月17日それぞれ閉館・閉校すると発表した。(3月17日HT紙インターネット版)

軍事

●NATO がトルコ領空の監視を開始

トルコ軍参謀本部は、NATO の E-3A 早期警戒機が地域情勢の安定化のためトルコの領空監視に従事することを発表した。実施期間は3月12日から15日であるが、今後も継続的に同様の NATO によるトルコ領空監視が実施されるという。(3月14日付HDN紙1面)

社会

●車の数が19県の人口を越える

トルコ統計庁(TÜİK)が発表した2016年度1月の「陸上輸送車に関する統計」によると、トルコ全体で2009万8994台の車両が登録されている一方で、イスタンブールでは365万1166台に上り、この数はトルコ19県の合計人口を越える数にあたる。更にトルコ全体の登録車数の40%が、イスタンブール、アンカラ、イズミル、アンタルヤ、ブルサの5つの県に集中している。(3月11日付HT紙21面他)

●時計に三色のイスタンブール

9日、時計会社大手のCASIOは、初めて都市をモデルとし

たG-shock イスタンブール2016の発売をチュラーン・パレス・ホテルにて発表した。赤・白・黒で三色展開されるモデルは、ボスポラス大橋、乙女の塔やカモメがデザインされており、各色500個の限定販売で、購入者にはイスタンブールがデザインされたTシャツもプレゼントされる。5月8日にはマチュカ公園にてG-shock City Festival と題したイベントが開催予定。(3月11日付M紙インターネット版他)



(写真は3月14日付Akit紙インターネット版から)

●化粧品に危険信号、赤ちゃん用シャンプーが危険

トルコ薬品医療機器協会(TITCK)が2015年に実施した検査で、1272の化粧品のうち、216の製品のみが検査基準に合格し、937の製品は不適合、119の製品で安全性が認められなかった。安全基準に満たなかった119の製品の内、香水、マニキュア、頬紅等の86の化粧品は模造品で非認可の成分が検出された。その他にはシャンプー、バラ水、粘度パック、赤ちゃん用シャンプー、ウェットティッシュなどで安全性が認められなかった。(3月14日付HT紙27面他)

●イスタンブール日本語弁論大会、25周年

13日、「イスタンブール日本語弁論大会」がバフチェシエヒル大学のベシクタシュキャンパスで実施された。江原総領事は、25年間途切れる事無く日本語弁論大会が行われる事は世界的にも珍しく、他国や他都市に誇りをもって紹介できる大会であると語った。20名の学生が参加した弁論大会では、Aカテゴリーではギョクハン・オズベックさん、Bカテゴリーではムハンメド・アリ・インジさんが一位に選ばれ、トルコ航空より日本行き往復航空券が授与された。(3月15日付HT紙19面他)



(写真は3月14日付Istanbul Ajansıインターネット版から)

●ヴォーダフォンアリーナ、4月5日にオープン

2013年度6月より建設が始まったベシクタシュのヴォーダフォンアリーナが4月5日にオープン予定で、エルドアン大統領とダーヴトオール首相が開会式典に参加する予定。最初の試合は4月9日で、ベシクタシュとブルサスポルが対戦する。新しいアリーナは4万1903人の観客を収容する事が可能。(3月15日付HT紙15面他)



(写真は3月10日付C紙インターネット版から)

●トルコの幸福度、昨年度から2ランクダウン

国連の持続可能な開発ソリューション・ネットワークが発

表した 2016 年度世界幸福度ランキングによると、トルコは 157 カ国の内 78 位にランクインし、昨年度 76 位からランクを落とした。最も幸福な国はデンマーク、最も不幸な国はアフリカのブルンジとなり、内戦が続いているシリア

は 2 番目に不幸な国としてランクインした。EU の有力国であるドイツは 16 位で、極東の経済大国である日本が 53 位、韓国は 58 位となった。(3 月 17 日付 H 紙 10 面他)

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKK の防衛隊
AKP	公正発展党 (現与党)	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党 (クルド政党)	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党 (最大野党)	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党 (クルド政党)	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
iHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
iŞİD	イラク・レバントのイスラム国 (アルカイダ系)	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟 (PKK 系)	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党 (野党)	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Ghan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp
WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計							
2016.1.1～2016.3.17 ※総領事館に訴出があったものを集計							
年	窃	盗	詐	欺	ぼったくりバー(相談)	高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週
2015年		8件		6件		20件	9件
2016年	0件	1件	0件	1件	0件	5件	0件

●今週は、被害の申告はありませんでした。

★当館 HP 更新のお知らせ★

- 富士山からウル山へ～日本文化週間開催のお知らせ (3/4) **NEW**
- 治安速報：イスタンブール (03/17) **NEW**

※掲載内容は、トルコの報道をまとめたものです。

● [治安速報:イスタンブール\(03/13\)](#) **NEW**